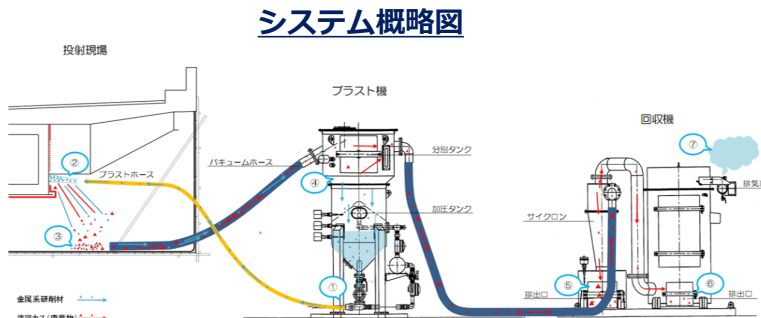


橋梁塗装・塗膜の鉛等有害物質除去工法の選定

循環式ハイブリッドブラストシステム工法【NETIS：QS-150032-VE】

◆循環式ハイブリッドブラストシステム工法とは？金属系の研削材を回収・再利用するブラスト工法です

2018年までに塗装された橋梁塗装の塗膜には有害物質（鉛やPCBなど）があり、世界的な化学物質規制の中で、鉛・六価クロムなどの重金属類やPCBなどの生物に影響する化学物質について、除去・適正処理が求められている。鉛等の有害物質を含む橋梁は、全国73万橋のうち約30万橋あり、橋梁の有害物質除去工事は完了の目処がたてられない状況にある。



システム概略図



従来工法と循環式ハイブリッドブラストシステム工法の違い

◆安全性／品質／経済性

項目	工法①：剥離剤工法+2種ケレン 塗装系：Rc-2仕様	工法②：循環式ハイブリッドブラストシステム 塗装系：Rc-1仕様
安全性	粉塵発生はしない 過酷な作業環境(特に熱中症:死亡事故につながる)	粉塵発生は少ない(鉄球の使用になる) 季節に関わりなく安全な作業環境
品質	2種ケレン：有害物質を完全に除去できない 耐用年数：30年以下(極端に短い場合も有り)	1種ケレン：有害物質を完全に除去できる 耐用年数：30~40年程度

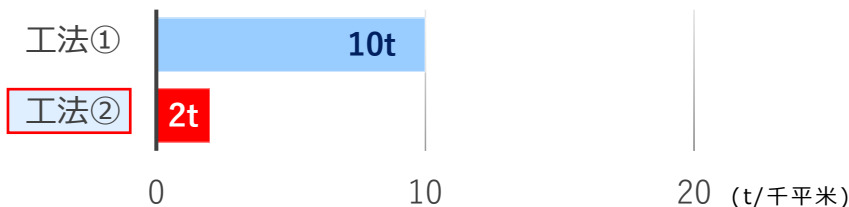
◆経済性【塗膜除去+塗替塗装+産廃処分のみ：1.0m2あたりの参考単価】



■経済性への貢献度

・コスト約22%減少

◆産業廃棄物の排出量（参考：1,000m2あたりの産業廃棄物排出量）



■環境面での貢献度

・排出量約80%減少

循環式ハイブリッドブラストシステム工法(NETIS：QS-150032-VE)が、有害物質の除去を高品質・安価で環境に優しい施工を実現します！

- ① 1種ケレンを施工することにより、有害物質の完全除去及び橋梁塗装の長寿命化を実現する。
- ② 研削材を循環させることにより、産業廃棄物量の大幅な減少を実現する。
- ③ 研削材と塗膜を完全分離させることにより、鉛・PCB等含有塗膜のみ分別処分を実現する。

